



## 2018年度 第2四半期決算概要 及び 通期業績予想

東京海上ホールディングス株式会社

2018年11月19日

◆資料内にて使用している事業会社の略称は以下の通りです

- TMNF : 東京海上日動火災保険
- NF : 日新火災海上保険
- AL : 東京海上日動あんしん生命保険
- TMHCC: Tokio Marine HCC
- TMK : Tokio Marine Kiln
- TMR : Tokio Millennium Re



## ■ 第1部：業績ハイライト

- トップラインの実績・通期予想、ボトムラインの実績 … 3
- ボトムラインの通期予想 … 4

## ■ 第2部：2018年度 第2四半期決算概要

- **連結決算概要** … 6
- **国内損保事業**
  - TMNF：2018年度 第2四半期実績 … 7
  - TMNF：コンバインド・レシオ … 8
  - TMNF：正味収入保険料および損害率 … 9
  - TMNF：資産運用関連 … 10
  - NF：2018年度実績 第2四半期実績 … 11
- **国内生保事業**
  - AL：2018年度 第2四半期実績 … 12
- **海外保険事業**
  - 正味収入保険料 … 13
  - 事業別利益 … 14
  - Philadelphia … 15
  - Delphi … 16
  - TMHCC … 17

## ■ 第3部：2018年度通期業績予想

- **連結業績予想** … 19
- **国内損保事業**
  - TMNF：2018年度業績予想 … 20
  - TMNF：コンバインド・レシオ … 21
  - TMNF：正味収入保険料および損害率 … 22
  - NF：2018年度業績予想 … 23
- **国内生保事業**
  - AL：2018年度業績予想 … 24
- **海外保険事業**
  - 正味収入保険料 … 25
  - 事業別利益 … 26

## ■ 第4部：ESRの状況

- ESRのターゲットレンジ … 28
- ESRの推移と感応度 … 29
- リスク量の状況 … 30

## ■ 参考資料 … 31

# 第1部：業績ハイライト

## 1. トップライン（第2四半期実績と通期予想）

### ■ 正味収入保険料

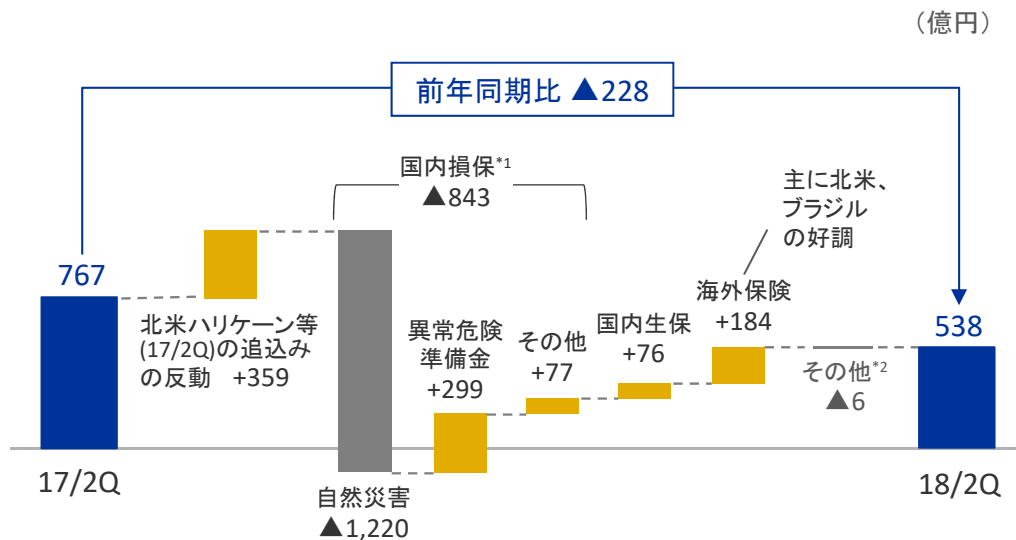
第2四半期： 1兆8,364億円（前年同期比+1.7%）  
 通期予想： 3兆5,900億円（前年度対比+0.7%、年初予想対比+600億円上方修正）

### ■ 生命保険料

第2四半期： 4,854億円（前年同期比+6.5%）  
 通期予想： 9,900億円（前年度対比+3.9%、年初予想対比+400億円上方修正）

## 2. ボトムラインの実績（第2四半期実績）

### ■ 連結純利益（親会社株主に帰属する中間純利益）



\*1 TMNF、NF合計。TMNFが子会社等から受取る配当金消去後  
 \*2 その他の連結調整等

### <正味収入保険料>

- 第2四半期は国内外での引受拡大により、前年同期比+1.7%増収
- 通期では、増収基調は変わらないものの、国内での出再保険料の増加等により、前年度対比+0.7%の増収、年初予想対比+600億円の上方修正

### <生命保険料>

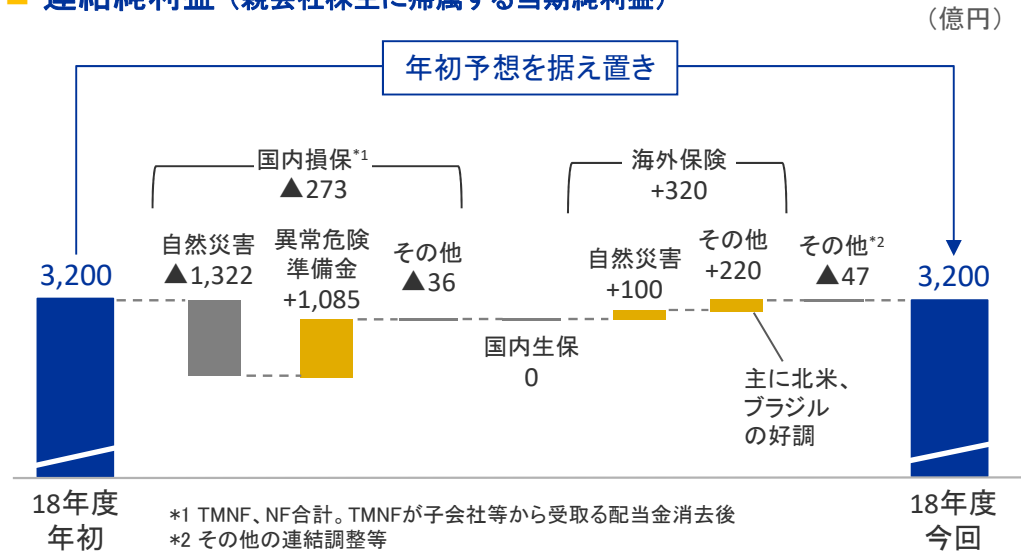
- 第2四半期は国内・海外とも増収し、前年同期比+6.5%増収
- 通期では、増収基調は変わらないものの、上期に変額年金の解約が少なかったこともあり、前年度対比+3.9%の増収、年初予想対比+400億円の上方修正

### <連結純利益>

- 第2四半期は国内での自然災害の影響を大きく受けたものの、前年の北米ハリケーン等の反動や各事業における利益成長により、前年同期比▲228億円減益の538億円にとどまった
- なお、異常危険準備金の取崩は、W/P損害率を基準とするため、第2四半期決算での取崩額は限定的

## 3. ボトムラインの通期予想

### ■ 連結純利益（親会社株主に帰属する当期純利益）



### ■ 修正純利益



### <連結純利益>

- 国内の自然災害の影響を異常危険準備金や海外保険の利益拡大でカバーし、年初予想を据え置く

### <修正純利益>

- 異常危険準備金の影響等を控除するため、国内の自然災害の影響により年初予想を▲980億円下方修正

### 【自然災害の発生保険金(事業別利益ベース)】

		2018予想		今回-年初
		(年初)	(今回)	
税引前	国内損保	525	2,370	1,845
	海外保険	500	380	▲120
	合計	1,025	2,750	1,725

税引後 <sup>*4</sup>	国内損保	378	1,708	1,330
	海外保険	400	300	▲100
	合計	778	2,008	1,230

\*4 税引後数値は概算

### 【TMNFの異常危険準備金残高】

保険種目	17年度末	18年度末予想
火災	約3,600億円	約2,400億円
火災以外	約7,300億円	約7,100億円
合計	約10,900億円	約9,500億円

## 第2部：2018年度 第2四半期決算概要

### <ご参考>

	為替レート(ドル/円)	
	17年度	18年度
9月末レート (国内損保・生保)	112.73円 (17年3月末対比 0.54円安)	113.57円 (18年3月末対比 7.33円安)
6月末レート (海外)	112.00円 (16年12月末対比 4.49円高)	110.54円 (17年12月末対比 2.46円高)

# 連結決算概要

連結決算	国内生保事業
国内損保事業	海外保険事業



	2017年度 第2四半期	2018年度 第2四半期	前年増減	前年増減率
<b>■保険料合計 (億円)</b>	22,624	23,219	594	+ 2.6%
正味収入保険料(連結)	18,064	18,364	299	+ 1.7%
生命保険料(連結)	4,559	4,854	295	+ 6.5%
<b>■連結経常利益 (億円)</b>	1,198	751	▲ 447	▲ 37.3%
東京海上日動	1,443	▲ 181	▲ 1,624	▲ 112.5%
日新火災	38	▲ 62	▲ 100	▲ 264.0%
あんしん生命	96	205	108	+ 112.3%
海外保険会社合計	852	1,042	189	+ 22.2%
北米ハリケーン等の追込み	▲ 457	-	457	-
金融・一般事業会社合計	32	28	▲ 4	▲ 12.9%
東京海上日動が子会社等から受け取る配当金の消去	▲ 527	▲ 72	454	
パーチェス差額	▲ 16	▲ 15	0	
のれん・負ののれん償却	▲ 246	▲ 172	74	
上記以外の連結調整等	▲ 17	▲ 21	▲ 3	
<b>■親会社株主に帰属する中間純利益(億円)</b>	767	538	▲ 228	▲ 29.8%
東京海上日動	1,124	▲ 103	▲ 1,227	▲ 109.2%
日新火災	26	▲ 43	▲ 70	▲ 262.7%
あんしん生命	61	138	76	+ 124.6%
海外保険会社合計	639	823	184	+ 28.8%
北米ハリケーン等の追込み	▲ 359	-	359	-
金融・一般事業会社合計	22	21	▲ 1	▲ 7.3%
東京海上日動が子会社等から受け取る配当金の消去	▲ 527	▲ 72	454	
パーチェス差額	▲ 12	▲ 12	0	
のれん・負ののれん償却	▲ 246	▲ 172	74	
上記以外の連結調整等	40	▲ 39	▲ 80	
<b>【グループ全体の利益指標】</b>				
<b>■修正純利益 (億円)</b>	1,435	899	▲ 536	▲ 37.4%

# 国内損保事業①：2018年度 第2四半期実績(TMNF)

## ■ 主要勘定科目の増減要因 (億円)

	2017年度 第2四半期 実績	2018年度 第2四半期 実績	前年増減
<b>保険引受利益</b>	<b>109</b>	<b>▲1,139</b>	<b>▲1,248</b>
(保険引受利益: 除く異常危険準備金積増/積減)	<b>452</b>	<b>▲1,181</b>	<b>▲1,633</b>
正味収入保険料(民保)	9,357	9,591	233
既経過保険料(民保)	9,266	9,436	169
発生保険金(民保)*	▲5,730	▲7,423	▲1,692
自然災害	▲418	▲1,998	▲1,580
外貨建支払備金積増/積減	▲4	▲58	▲54
上記以外	▲5,308	▲5,365	▲57
事業費(民保)	▲3,012	▲3,055	▲42
異常危険準備金積増/積減	▲342	42	384
自動車	▲157	▲36	121
火災	▲76	162	239
<b>資産運用等損益</b>	<b>1,328</b>	<b>939</b>	<b>▲388</b>
資産運用損益	1,468	1,108	▲359
利息及び配当金収入	1,116	733	▲383
外国株式配当金	538	80	▲457
有価証券売却損益	577	635	57
有価証券評価損	▲0	▲2	▲2
金融派生商品損益	▲17	▲88	▲70
<b>経常利益</b>	<b>1,443</b>	<b>▲181</b>	<b>▲1,624</b>
<b>特別損益</b>	<b>▲86</b>	<b>▲39</b>	<b>47</b>
<b>中間純利益</b>	<b>1,124</b>	<b>▲103</b>	<b>▲1,227</b>

\* 損害調査費を含む

注) 上表における符号は、利益方向に一致するように表示

### — 保険引受利益

以下を主因として前年同期比▲1,248億円減益の▲1,139億円

- 正味収入保険料(民保)(詳細はP.9参照):
  - ➡ 新種保険を中心に、全ての種目で増収
- 発生保険金(民保):
  - ➡ 自然災害に係る発生保険金の増加
  - ➡ 期初からの円安進行に伴う、外貨建支払備金積増負担の増加
  - ➡ 増収に伴う発生保険金の増加
- 事業費(民保):
  - ➡ 増収に伴う代理店手数料の増加
- 異常危険準備金:
  - ➡ 自然災害に係る保険金支払に伴う取崩額の増加により、積増負担額は減少

### — 資産運用等損益(詳細はP.10参照)

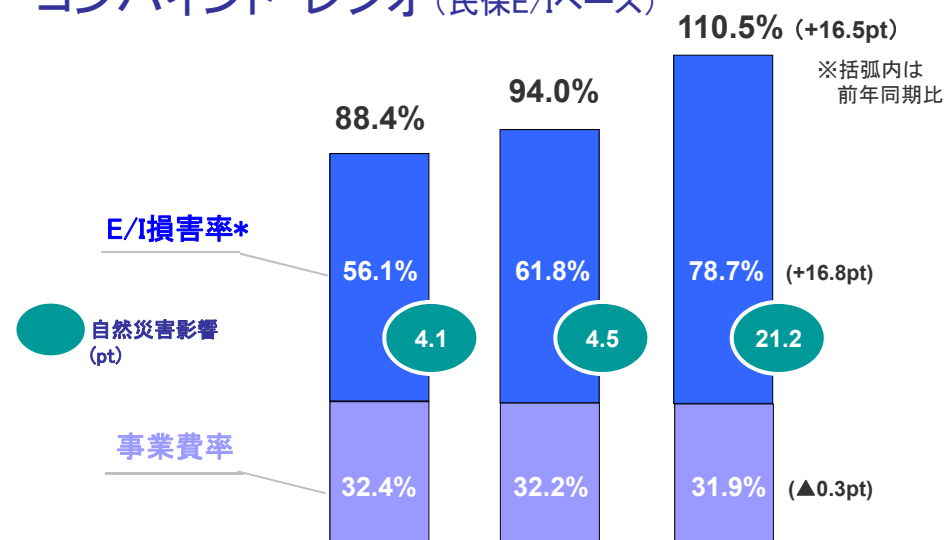
海外子会社からの配当金収入の減少を主因として、前年同期比▲388億円減益の939億円

### — 中間純利益

上記の要因等により前年同期比▲1,227億円減益の▲103億円



## ■ コンバインド・レシオ(民保E/Iベース)



### － E/I損害率

以下を主因として前年同期比16.8ポイント上昇の78.7%

- 自然災害に係る発生保険金の増加
- 期初からの円安進行に伴う、外貨建支払備金積増負担の増加

### － 事業費率

正味収入保険料の増加を主因として前年同期比0.3ポイント低下の31.9%

単位：億円

	2016年度 第2四半期 実績	2017年度 第2四半期 実績	2018年度 第2四半期 実績	前年増減
正味収入保険料	9,182	9,357	9,591	233
既経過保険料	9,105	9,266	9,436	169
発生保険金*	5,103	5,730	7,423	1,692
事業費	2,971	3,012	3,055	42
内：社費	1,146	1,137	1,125	▲11
内：代理店手数料	1,824	1,874	1,929	54

(参考)全種目W/Pベース

コンバインド・レシオ*	90.4%	90.5%	92.6%	2.1pt
損害率*	59.7%	60.1%	62.2%	2.1pt
事業費率	30.6%	30.4%	30.4%	▲0.0pt

\* 損害調査費を含む

# 国内損保事業③：正味収入保険料 および 損害率(TMNF)

## ■ 種目別正味収入保険料 (億円)

	2017年度 第2四半期 実績	2018年度 第2四半期 実績	前年増減	
			前年増減	前年増減率
火災	1,296	1,357	61	4.7%
海上	296	324	28	9.6%
傷害	971	995	24	2.5%
自動車	5,310	5,315	5	0.1%
自賠責	1,488	1,347	▲140	▲9.4%
その他	1,487	1,602	114	7.7%
<b>合計</b>	<b>10,850</b>	<b>10,944</b>	93	0.9%
民保合計	9,357	9,591	233	2.5%

### － 主な増減要因

- 火災：家計分野における契約件数の増加を主因に増収
- 海上：物流量の増加を主因に貨物保険で増収
- 傷害：2017年12月の料率改定や加入者数の増加を主因に増収
- 自動車：2018年1月の料率引下げの一方、補償拡充や契約台数の増加により増収
- 自賠責：2017年4月の料率引下げを主因に減収
- その他：超ビジネス保険・業務災害総合保険の販売拡大に加え、前年度の保証保険における解約の反動等により増収

## ■ 種目別E/I損害率

	2017年度 第2四半期 実績	2018年度 第2四半期 実績	前年増減
			前年増減
火災	68.2%	173.5%	105.4pt
海上	84.1%	80.7%	▲ 3.4pt
傷害	55.6%	53.5%	▲ 2.1pt
自動車	59.3%	63.6%	4.3pt
その他	63.9%	60.6%	▲ 3.3pt
<b>民保合計</b>	<b>61.8%</b>	<b>78.7%</b>	16.8pt

### － 主な増減要因

- 火災：自然災害に係る発生保険金の増加および大口事故の増加を主因に上昇
- 海上：船舶保険における中規模事故の減少を主因に低下
- 自動車：自然災害に係る発生保険金の増加を主因に上昇
- その他：前年度の大口径事故等の反動を主因に低下

## ■ 資産運用等損益(億円)

	2017年度 第2四半期 実績	2018年度 第2四半期 実績	前年増減
<b>資産運用等損益</b>	<b>1,328</b>	<b>939</b>	<b>▲ 388</b>
<b>資産運用損益</b>	<b>1,468</b>	<b>1,108</b>	<b>▲ 359</b>
<b>ネット利息及び配当金収入</b>	<b>899</b>	<b>530</b>	<b>▲ 368</b>
利息及び配当金収入	1,116	733	▲ 383
内国株式配当金	316	352	35
外国株式配当金	538	80	▲ 457
内国債券インカム	121	112	▲ 8
外国債券インカム	20	24	4
内国その他インカム*1	1	10	8
外国その他インカム*2	64	99	35
積立保険料等運用益振替	▲ 217	▲ 202	14
<b>売却損益等計(キャピタル)</b>	<b>569</b>	<b>578</b>	<b>8</b>
有価証券売却損益	577	635	57
有価証券評価損	▲ 0	▲ 2	▲ 2
金融派生商品損益	▲ 17	▲ 88	▲ 70
その他運用収益・費用	2	3	0
その他	7	30	23
<b>その他経常収益・費用等</b>	<b>▲ 140</b>	<b>▲ 168</b>	<b>▲ 28</b>

\* 1. 内国証券のうち内国株式及び内国債券以外からのインカム

\* 2. 外国証券のうち外国株式及び外国債券以外からのインカム

注) 上表における符号は、利益方向に一致するように表示

### — 資産運用等損益は、前年同期比▲388億円減益の939億円

- ネット利息及び配当金収入  
以下を主因として前年同期比▲368億円減益の530億円
  - ▶ 外国株式配当金：
    - ✓ 海外子会社からの配当金収入の減少
- 売却損益等計(キャピタル)  
以下を主因として前年同期比8億円増益の578億円
  - ▶ 有価証券売却損益：
    - ✓ 政策株式売却益の増加
    - ✓ 前年度の外国証券に係る売却益の反動
  - ▶ 金融派生商品損益：
    - ✓ ヘッジ目的で実施しているデリバティブの時価変動  
※ヘッジ対象資産の損益を加味すると、当該影響は相殺されている

なお、政策株式売却に伴う売却益は前年同期比110億円増加の630億円(売却額810億円)

# 国内損保事業⑤：2018年度 第2四半期実績(NF)

連結決算	国内生保事業
国内損保事業	海外保険事業



## ■ 主要勘定科目の増減要因(億円)

	2017年度 第2四半期 実績	2018年度 第2四半期 実績	前年増減
<b>保険引受利益</b>	<b>32</b>	<b>▲ 69</b>	<b>▲ 102</b>
(保険引受利益: 除く異常危険準備金積増/積減)	<b>63</b>	<b>▲ 70</b>	<b>▲ 133</b>
正味収入保険料(民保)	619	646	26
既経過保険料(民保)	615	630	15
発生保険金(民保)*	▲ 337	▲ 480	▲ 143
自然災害	▲ 12	▲ 124	▲ 112
上記以外	▲ 324	▲ 355	▲ 30
事業費(民保)	▲ 211	▲ 220	▲ 8
異常危険準備金積増/積減	▲ 30	0	31
火災	▲ 4	18	22
自動車	▲ 20	▲ 13	6
<b>資産運用等損益</b>	<b>9</b>	<b>10</b>	<b>1</b>
資産運用損益	11	12	1
利息及び配当金収入	20	19	▲ 0
有価証券売却損益	0	2	1
<b>経常利益</b>	<b>38</b>	<b>▲ 62</b>	<b>▲ 100</b>
<b>特別損益</b>	<b>▲ 0</b>	<b>0</b>	<b>1</b>
<b>中間純利益</b>	<b>26</b>	<b>▲ 43</b>	<b>▲ 70</b>
<b>損害率(民保E/I)*</b>	<b>54.8%</b>	<b>76.1%</b>	21.3pt
<b>事業費率(民保)</b>	<b>34.1%</b>	<b>34.1%</b>	▲ 0.1pt
<b>E/Iコンバインド・レシオ(民保)*</b>	<b>88.9%</b>	<b>110.2%</b>	21.3pt

\* 損害調査費を含む

注) 上表における符号は、利益方向に一致するように表示

### — 保険引受利益

以下を主因として前年同期比▲102億円減益の▲69億円

- 正味収入保険料(民保):
  - ➡ 火災・新種保険の販売拡大による増収
- 発生保険金(民保):
  - ➡ 自然災害に係る発生保険金の増加
  - ➡ 自動車・新種保険における事故の増加
- 異常危険準備金:
  - ➡ 自然災害に係る保険金支払に伴う取崩
  - ➡ 自動車保険の繰入率引下げによる積増負担の減少

### — 資産運用等損益

有価証券売却損益の増加等により、前年同期比1億円増益の10億円

### — 中間純利益

上記の結果、前年同期比▲70億円減益の▲43億円

# 国内生保事業：2018年度 第2四半期実績(AL)

連結決算	国内生保事業
国内損保事業	海外保険事業



## ■ 年換算保険料(億円)

	2017年度 第2四半期 実績	2018年度 第2四半期 実績	前年増減	前年 増減率
新契約年換算保険料	475	393	▲81	▲17.3%
保有契約年換算保険料	8,412	8,538	126	1.5%

### — 新契約年換算保険料

- 前年8月の法人向け商品の料率改定に伴う契約増加の反動等により、前年同期比▲17.3%の減収

### — 保有契約年換算保険料

- 新契約の積み上がりにより、前年同期比1.5%の増収

## ■ 財務会計各種指標(億円)

	2017年度 第2四半期 実績	2018年度 第2四半期 実績	前年増減
経常収益	5,492	4,968	▲524
保険料等収入	4,341	4,365	24
中間純利益	61	138	76
経常利益	105	192	86
(-) キャピタル損益	▲9	▲37	▲28
(-) 臨時損益	▲27	0	28
基礎利益	142	229	86

### — 中間純利益

- 標準利率引下げに伴う料率改定前の契約増加で、責任準備金の積増が前期に一部発生した反動等により、前年同期比76億円増益の138億円

### — 基礎利益

- 経常利益から外債の売却に係るマイナス影響や、危険準備金の積増の反動等を控除した結果、前年同期比86億円増益の229億円

## ■ 事業別利益(億円)

	2017年度 第2四半期 実績	2018年度 第2四半期 実績	前年増減
MCEV増加額*	865	711	▲154

\* 資本取引の影響を除く

### — 事業別利益(MCEV増加額)

- 昨年度の経済環境変動(金利変動等)の反動等により、前年同期比▲154億円減益の711億円

## ■ 事業ドメイン別業績(億円)

	2017年度 第2四半期 実績	2018年度 第2四半期 実績	前年 増減	前年 増減率	(参考) 前年増減率 (為替の影響除き) <sup>*5</sup>
	適用為替レート (ドル/円)	17年6月末			
	112.0円	110.5円			
北米*1	5,160	5,556	395	8%	9%
Philadelphia	1,722	1,809	87	5%	6%
Delphi	1,262	1,346	84	7%	8%
TMHCC	1,768	2,007	238	13%	15%
欧州*2	795	784	▲10	▲1%	▲0%
中南米	701	647	▲54	▲8%	9%
アジア (含む中東)	662	762	99	15%	16%
再保険*3	909	927	18	2%	3%
<b>損保計*4</b>	<b>8,229</b>	<b>8,678</b>	448	5%	8%
<b>生保</b>	<b>446</b>	<b>456</b>	9	2%	2%
<b>合計</b>	<b>8,676</b>	<b>9,134</b>	458	5%	8%

\*1: 「北米」に記載の数値には、TMHCCの欧州および再保険事業を含みます。TMKの北米事業は含みません。

\*2: 「欧州」に記載の数値には、TMKの北米事業を含みます。TMHCCの欧州・再保険事業は含みません。

\*3: 「再保険」に記載の数値には、TMRおよび他の再保険会社の数値を記載しています。

\*4: 「損保計」に記載の数値には、生損保兼営の海外子会社で引き受けている生命保険事業の数値を一部含んでおります。

\*5: 円換算時の為替の影響を控除。

— 各事業における成長施策の実行等により、前年同期比5%の増収

### 【主な増減要因】

北米(主要3社の詳細はP. 15 ~ 17参照)

- Philadelphiaは、更新契約のレートアップや新規契約の拡大等により増収
- Delphiは、損保の新規契約拡大を主因として増収
- TMHCCは、前年度に買収したメディカルストップロス事業の貢献や更新契約のレートアップ等により増収

中南米

- ブラジルにおける自動車保険の引受拡大等により現地通貨ベースでは増収したものの、円高進行の影響により減収

アジア(含む中東)

- インドの出資比率引上げやタイでのビジネス拡大等により増収

# 海外保険事業②：2018年度 第2四半期実績(事業別利益)

連結決算	国内生保事業
国内損保事業	海外保険事業



## ■ 事業ドメイン別業績(億円)

	2017年度 第2四半期 実績	2018年度 第2四半期 実績	前年 増減	前年 増減率	(参考) 前年増減率 (為替の影響除き)*5
	17年6月末 (ドル/円)	18年6月末			
適用為替レート (ドル/円)	112.0円	110.5円			
北米*1	666	785	118	18%	19%
Philadelphia	198	184	▲13	▲7%	▲6%
Delphi	223	339	116	52%	54%
TMHCC	206	224	17	8%	10%
欧州*2	35	69	34	95%	124%
中南米	21	54	33	153%	201%
アジア (含む中東)	85	52	▲33	▲39%	▲38%
再保険*3	35	35	0	0%	▲1%
損保計*4	843	1,003	159	19%	23%
生保	34	▲30	▲65	▲190%	▲186%
合計	848	932	83	10%	13%
北米ハリケーン等 の追込み	▲488	-	488	-	-
合計(調整後)	360	932	572	159%	162%

\*1:「北米」に記載の数値には、TMHCCの欧州および再保険事業を含みます。TMKの北米事業は含みません。  
 \*2:「欧州」に記載の数値には、TMKの北米事業を含みます。TMHCCの欧州・再保険事業は含みません。  
 \*3:「再保険」に記載の数値には、TMRおよび他の再保険会社の数値を記載しています。  
 \*4:「損保計」に記載の数値には、生損保業の海外子会社で引き受けている生命保険事業の数値を一部含んでおります。  
 \*5:円換算時の為替の影響を控除。

- Delphiにおける資産運用収益の拡大やブラジルにおける収益改善に加え、米国減税効果や前年の北米ハリケーン等の反動等により前年同期比572億円の増益

### 【主な増減要因】

#### 北米(主要3社の詳細はP. 15 ~ 17参照)

- Philadelphiaは、増収効果や減税効果があった一方、大口事故の影響等により減益
- Delphiは、増収効果や資産運用収益の増加に加え、減税効果等により増益
- TMHCCは、増収効果や為替換算損益の改善に加え、減税効果等により増益

#### 欧州

- 為替換算損益の改善等により増益

#### 中南米

- ブラジルにおける自動車保険の収益改善を主因として増益

#### アジア(含む中東)

- 前年同期のリザーブ取崩の反動等により減益

#### 生保

- シンガポールにおける金利上昇に伴う債券含み益の減少等により減益

# 海外保険事業③：2018年度 第2四半期実績(北米内訳-Philadelphia)

連結決算	国内生保事業
国内損保事業	海外保険事業



## ■ 主要勘定科目の増減(億円)

	2017年度 第2四半期 実績	2018年度 第2四半期 実績	前年 増減	前年 増減率	(参考) 前年増減率 (為替の影響除き)*2
	17年6月末	18年6月末			
適用為替レート (ドル/円)	112.0円	110.5円			
正味収入保険料	1,722	1,809	87	5%	6%
既経過保険料	1,700	1,773	73	4%	6%
発生保険金	1,090	1,203	112	10%	12%
自然災害	70	79	8	12%	14%
手数料・社費	524	546	21	4%	5%
保険引受利益	85	24	▲ 60	▲ 71%	▲ 71%
資産運用損益	166	177	10	6%	8%
事業別利益	198	184	▲ 13	▲ 7%	▲ 6%
損害率*1	64.1%	67.8%	3.7pt	-	-
事業费率*1	30.9%	30.8%	▲ 0.1pt	-	-
コンバインドレシオ*1	95.0%	98.6%	3.6pt	-	-

\*1: 分母は既経過保険料。

\*2: 円換算時の為替の影響を控除。



# 海外保険事業④：2018年度 第2四半期実績（北米内訳-Delphi）

連結決算	国内生保事業
国内損保事業	海外保険事業



## ■ 主要勘定科目の増減（億円）

	2017年度 第2四半期 実績	2018年度 第2四半期 実績	前年 増減	前年 増減率	(参考) 前年増減率 (為替の影響除き)*2
	17年6月末	18年6月末			
適用為替レート (ドル/円)	112.0円	110.5円			
正味収入保険料	1,262	1,346	84	7%	8%
既経過保険料	1,201	1,282	80	7%	8%
発生保険金	903	953	50	6%	7%
自然災害	-	-	-	-	-
手数料・社費	320	347	27	9%	10%
保険引受利益	▲ 21	▲ 18	3	-	-
資産運用損益	557	671	113	20%	22%
事業別利益	223	339	116	52%	54%
損害率*1	75.2%	74.4%	▲0.8pt	-	-
事業费率*1	26.6%	27.1%	0.4pt	-	-
コンバインドレシオ*1	101.8%	101.5%	▲0.3pt	-	-

## ■ セグメント別正味収入保険料（億円）

	2017年度 第2四半期 実績	2018年度 第2四半期 実績	前年 増減	前年 増減率	(参考) 前年増減率 (為替の影響除き)*2
	17年6月末	18年6月末			
適用為替レート (ドル/円)	112.0円	110.5円			
損保	557	630	73	13%	15%
生保	705	715	10	2%	3%
合計	1,262	1,346	84	7%	8%

## ■ セグメント別損害率

	2017年度 第2四半期 実績	2018年度 第2四半期 実績	前年 増減
損保*1	69.6%	71.8%	2.2pt
生保*1	79.0%	76.4%	▲2.6pt
合計*1	75.2%	74.4%	▲0.8pt

\*1: 分母は既経過保険料。

\*2: 円換算時の為替の影響を控除。

# 海外保険事業⑤：2018年度 第2四半期実績(北米内訳-TMHCC)

連結決算	国内生保事業
国内損保事業	海外保険事業



## ■ 主要勘定科目の増減(億円)

	2017年度 第2四半期 実績	2018年度 第2四半期 実績	前年 増減	前年 増減率	(参考) 前年増減率 (為替の影響除き)*2
	17年6月末	18年6月末			
適用為替レート (ドル/円)	112.0円	110.5円			
正味収入保険料	1,768	2,007	238	13%	15%
既経過保険料	1,525	1,710	185	12%	14%
発生保険金	951	1,102	151	16%	17%
自然災害	15	14	▲0	▲5%	▲3%
手数料・社費	385	409	23	6%	8%
保険引受利益	138	152	13	10%	12%
資産運用損益	148	126	▲21	▲15%	▲14%
事業別利益	206	224	17	8%	10%
損害率*1	62.4%	64.5%	2.1pt	-	-
事業费率*1	25.3%	23.9%	▲1.3pt	-	-
コンバインドレシオ*1	87.7%	88.4%	0.7pt	-	-

## ■ セグメント別正味収入保険料(億円)

	2017年度 第2四半期 実績	2018年度 第2四半期 実績	前年 増減	前年 増減率	(参考) 前年増減率 (為替の影響除き)*2
	17年6月末	18年6月末			
適用為替レート (ドル/円)	112.0円	110.5円			
北米損保	747	725	▲21	▲3%	▲2%
傷害・医療	631	779	148	24%	25%
米国外	390	502	111	29%	30%
合計	1,768	2,007	238	13%	15%

## ■ セグメント別損害率

	2017年度 第2四半期 実績	2018年度 第2四半期 実績	前年 増減
北米損保*1	60.8%	59.9%	▲0.9pt
傷害・医療*1	72.8%	76.8%	4.0pt
米国外*1	43.9%	45.3%	1.4pt
合計*1	62.4%	64.5%	2.1pt

\*1: 分母は既経過保険料。

\*2: 円換算時の為替の影響を控除。

## 第3部：2018年度 通期業績予想

### <ご参考>

2018年度 通期業績予想の前提		
	為替レート ドル/円	日経平均株価
年初予想 (18年3月末レート/株価)	106.24円	21,454円
今回予想 (18年9月末レート/株価)	113.57円	24,120円

# 連結業績予想

連結決算	国内生保事業
国内損保事業	海外保険事業



	2017年度 実績	2018年度 予想(年初)	2018年度 予想(今回)	今回-年初	増減率
<b>■保険料合計(億円)</b>	45,177	44,800	45,800	1,000	+ 2.2%
正味収入保険料(連結)	35,647	35,300	35,900	600	+ 1.7%
生命保険料(連結)	9,530	9,500	9,900	400	+ 4.2%
<b>■連結経常利益(億円)</b>	3,449	4,500	4,550	50	+ 1.1%
東京海上日動	3,258	3,280	2,940	▲ 340	▲ 10.4%
日新火災	75	76	60	▲ 16	▲ 21.1%
あんしん生命	235	313	320	7	+ 2.2%
海外保険会社合計	1,262	1,680	2,100	420	+ 25.0%
金融・一般事業会社合計	74	58	55	▲ 3	▲ 5.2%
東京海上日動が子会社等から受け取る配当金の消去	▲ 926	▲ 449	▲ 470	▲ 21	
パーチェス差額	▲ 31	▲ 30	▲ 23	7	
のれん・負ののれん償却	▲ 438	▲ 332	▲ 359	▲ 27	
上記以外の連結調整等	▲ 60	▲ 96	▲ 73	23	
<b>■親会社株主に帰属する当期純利益(億円)</b>	2,841	3,200	3,200	-	-
東京海上日動	2,538	2,420	2,180	▲ 240	▲ 9.9%
日新火災	53	56	44	▲ 12	▲ 21.4%
あんしん生命	155	210	210	-	-
海外保険会社合計	1,453	1,380	1,700	320	+ 23.2%
金融・一般事業会社合計	50	39	39	-	-
東京海上日動が子会社等から受け取る配当金の消去	▲ 926	▲ 449	▲ 470	▲ 21	
パーチェス差額	▲ 24	▲ 21	▲ 17	4	
のれん・負ののれん償却	▲ 438	▲ 332	▲ 359	▲ 27	
上記以外の連結調整等	▲ 21	▲ 103	▲ 127	▲ 24	
<b>【グループ全体の利益指標】</b>					
<b>■修正純利益(億円)</b>	3,414	3,960	2,980	▲ 980	▲ 24.7%

# 国内損保事業①：2018年度業績予想(TMNF)

## ■ 主要勘定科目の増減要因 (億円)

	2017年度実績	2018年度予想			
		年初(①)	今回(②)	②-①	前年増減
<b>保険引受利益</b>	<b>866</b>	<b>1,710</b>	<b>1,250</b>	<b>▲460</b>	<b>383</b>
(保険引受利益: 除く異常危険準備金積増/積減)	1,177	1,718	▲150	▲1,869	▲1,328
正味収入保険料(民保)	18,615	18,699	18,746	46	130
既経過保険料(民保)	18,602	18,719	18,708	▲11	106
発生保険金(民保)*1	▲11,424	▲10,980	▲12,868	▲1,888	▲1,444
自然災害	▲822	▲500	▲2,200	▲1,700	▲1,377
外貨建支払備金積増/積減	47	-	▲58	▲58	▲105
上記以外	▲10,649	▲10,480	▲10,610	▲129	39
事業費(民保)	▲6,054	▲6,110	▲6,098	12	▲43
異常危険準備金積増/積減	▲311	▲8	1,400	1,409	1,712
自動車	▲31	223	337	114	369
火災	▲106	▲107	1,188	1,295	1,295
<b>資産運用等損益</b>	<b>2,379</b>	<b>1,566</b>	<b>1,686</b>	<b>119</b>	<b>▲693</b>
資産運用損益	2,667	1,900	2,040	140	▲627
利息及び配当金収入	2,097	1,666	1,779	112	▲318
内国株式配当金	599	557	641	84	41
外国株式配当金	969	483	503	19	▲465
外国その他インカム*2	121	264	259	▲4	137
有価証券売却損益	941	782	771	▲10	▲170
有価証券評価損	▲10	-	▲2	▲2	7
金融派生商品損益	58	▲167	▲156	11	▲214
<b>経常利益</b>	<b>3,258</b>	<b>3,280</b>	<b>2,940</b>	<b>▲340</b>	<b>▲318</b>
<b>特別損益</b>	<b>▲124</b>	<b>▲61</b>	<b>▲72</b>	<b>▲11</b>	<b>52</b>
<b>当期純利益</b>	<b>2,538</b>	<b>2,420</b>	<b>2,180</b>	<b>▲240</b>	<b>▲358</b>

\*1 損害調査費を含む

\*2 外国証券のうち外国株式及び外国債券以外からのインカム

注) 上表における符号は、利益方向に一致するように表示

### ー 保険引受利益

以下を主因として年初予想対比▲460億円の下方修正

- ➡ 自然災害に係る発生保険金の増加
- ➡ 自然災害に係る保険金支払に伴う取崩の増加による、異常危険準備金の積増負担の減少
- ➡ 大口事故の上方修正
- ➡ 期初からの円安進行に伴う、外貨建支払備金積増負担の増加

### ー 資産運用等損益

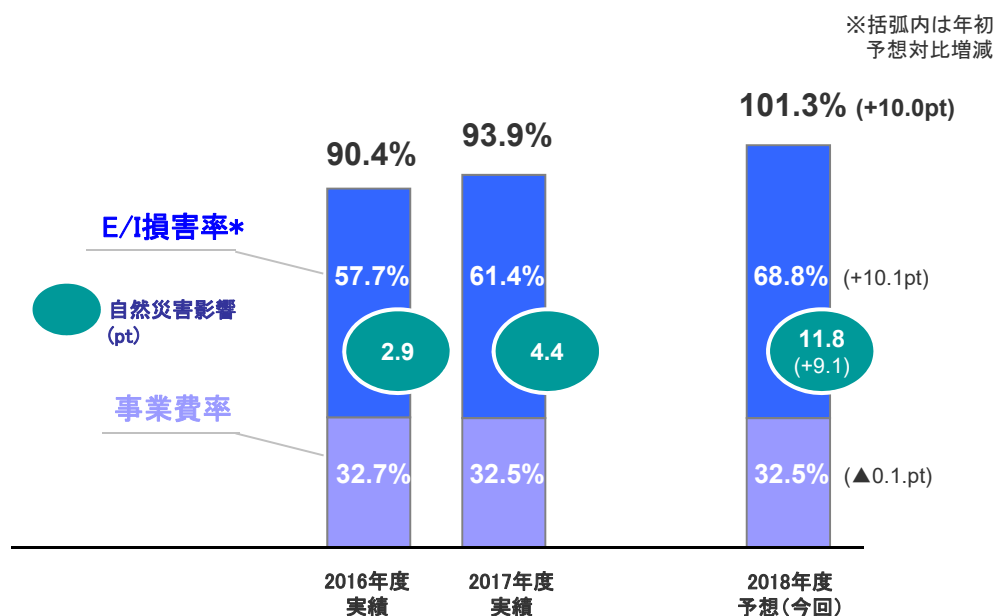
以下を主因として年初予想対比119億円の上方修正

- ➡ 政策株式配当金の増加

### ー 当期純利益

上記要因等により、年初予想対比▲240億円下方修正の2,180億円を見込む

## ■ コンバインド・レシオ(民保E/Iベース)



### － E/I損害率

以下を主因として、年初予想対比10.1ptの上昇を見込む

- ▶ 自然災害に係る発生保険金の増加
- ▶ 大口事故の上方修正
- ▶ 期初からの円安進行に伴う、外貨建支払備金積増負担の増加

### － 事業費率

正味収入保険料の増加を主因に、年初予想対比0.1ptの低下を見込む

### － コンバインドレシオ

上記要因等により、年初予想対比10.0ptの上昇を見込む

単位：億円

	2016年度実績	2017年度実績	2018年度予想			前年増減
			年初①	今回②	②-①	
正味収入保険料	18,319	18,615	18,699	18,746	46	130
既経過保険料	18,208	18,602	18,719	18,708	▲11	106
発生保険金*	10,513	11,424	10,980	12,868	1,888	1,444
事業費	5,990	6,054	6,110	6,098	▲12	43
内：社費	2,343	2,342	2,381	2,344	▲36	2
内：代理店手数料	3,647	3,712	3,729	3,753	24	41

\* 損害調査費を含む

## 国内損保事業③：正味収入保険料 および 損害率(TMNF)

連結決算	国内生保事業
国内損保事業	海外保険事業



### ■ 種目別正味収入保険料 (億円)

	2017年度実績	2018年度予想				
		年初①	今回②	②-①	前年増減	前年増減率
火災	2,746	2,773	2,706	▲67	▲40	▲1.5%
海上	599	584	617	32	18	3.0%
傷害	1,686	1,680	1,701	20	15	0.9%
自動車	10,644	10,678	10,645	▲33	1	0.0%
自賠償	2,822	2,749	2,701	▲47	▲120	▲4.3%
その他	2,949	2,993	3,087	93	138	4.7%
<b>合計</b>	<b>21,447</b>	<b>21,460</b>	<b>21,460</b>	-	12	0.1%
民保合計	18,615	18,699	18,746	46	130	0.7%

#### － 主な修正要因

- 火災：出再保険料の増加の影響により下方修正
- 自動車：直近の傾向を踏まえ、契約台数を見直したことにより下方修正
- 自賠償：契約台数の見直しにより下方修正
- その他：賠償を中心とした増収基調を踏まえ、上方修正

### ■ 種目別E/I損害率

	2017年度実績	2018年度予想			
		年初①	今回②	②-①	前年増減
火災	68.7%	48.3%	111.3%	63.0pt	42.6pt
海上	71.6%	64.9%	72.3%	7.4pt	0.7pt
傷害	53.9%	55.2%	53.4%	▲1.8pt	▲0.4pt
自動車	60.8%	62.8%	63.6%	0.8pt	2.8pt
その他	58.9%	54.4%	56.1%	1.7pt	▲2.8pt
<b>民保合計</b>	<b>61.4%</b>	<b>58.7%</b>	<b>68.8%</b>	10.1pt	7.4pt

#### － 主な修正要因

- 火災：自然災害に係る発生保険金や大口事故の増加を主因に上昇
- 海上：自然災害に係る発生保険金の増加により上昇
- 自動車：自然災害に係る発生保険金の増加により上昇
- その他：自然災害に係る発生保険金の増加により上昇

# 国内損保事業④：2018年度業績予想(NF)

連結決算	国内生保事業
国内損保事業	海外保険事業



## ■ 主要勘定科目の増減要因(億円)

	2017年度実績	2018年度予想			
		年初(①)	今回(②)	②-①	前年増減
<b>保険引受利益</b>	<b>53</b>	<b>62</b>	<b>17</b>	<b>▲ 44</b>	<b>▲ 35</b>
(保険引受利益: 除く異常危険準備金積増/積減)	97	101	▲ 40	▲ 141	▲ 137
正味収入保険料(民保)	1,230	1,244	1,255	11	24
既経過保険料(民保)	1,236	1,253	1,249	▲ 4	12
発生保険金(民保)*	▲ 714	▲ 718	▲ 863	▲ 144	▲ 148
自然災害	▲ 40	▲ 25	▲ 160	▲ 135	▲ 119
上記以外	▲ 674	▲ 693	▲ 703	▲ 9	▲ 28
事業費(民保)	▲ 429	▲ 441	▲ 447	▲ 5	▲ 17
異常危険準備金積増/積減	▲ 44	▲ 38	57	96	102
火災	6	▲ 3	92	96	86
自動車	▲ 40	▲ 27	▲ 27	▲ 0	13
<b>資産運用等損益</b>	<b>26</b>	<b>17</b>	<b>46</b>	<b>28</b>	<b>19</b>
資産運用損益	30	21	49	27	18
利息及び配当金収入	45	42	43	1	▲ 1
有価証券売却損益	3	-	27	27	23
<b>経常利益</b>	<b>75</b>	<b>76</b>	<b>60</b>	<b>▲ 16</b>	<b>▲ 15</b>
<b>特別損益</b>	<b>▲ 2</b>	<b>2</b>	<b>▲ 0</b>	<b>▲ 3</b>	<b>1</b>
<b>当期純利益</b>	<b>53</b>	<b>56</b>	<b>44</b>	<b>▲ 12</b>	<b>▲ 9</b>
<b>損害率(民保E/I)*</b>	<b>57.8%</b>	<b>57.3%</b>	<b>69.1%</b>	11.8pt	11.3pt
<b>事業費率(民保)</b>	<b>34.9%</b>	<b>35.5%</b>	<b>35.6%</b>	0.1pt	0.7pt
<b>E/Iコンバインド・レシオ(民保)*</b>	<b>92.7%</b>	<b>92.8%</b>	<b>104.7%</b>	11.9pt	12.0pt

\* 損害調査費を含む

注) 上表における符号は、利益方向に一致するように表示

### — 保険引受利益

以下を主因として年初予想対比▲44億円の下方修正

- ➡ 自然災害に係る発生保険金の増加
- ➡ 火災保険における異常危険準備金の取崩額の増加
- ➡ 新種保険における事故増加による発生保険金の増加

### — 資産運用等損益

以下を主因として年初予想対比28億円の上方修正

- ➡ 市況環境を踏まえた株式の売却による有価証券売却益の増加

### — 当期純利益

上記に加え、価格変動準備金の繰入等により、年初予想対比▲12億円下方修正の44億円を見込む



## ■ 年換算保険料(億円)

	2017年度実績	2018年度予想		
		年初(①)	今回(②)	②-①
新契約年換算保険料	1,021	1,042	933	▲109
保有契約年換算保険料	8,527	8,789	8,748	▲40

## ■ 財務会計各種指標(億円)

	2017年度実績	2018年度予想		
		年初(①)	今回(②)	②-①
経常収益	10,854	10,504	10,385	▲119
保険料等収入	9,081	9,487	9,342	▲144
当期純利益	155	210	210	-
経常利益	230	257	264	7
(-) キャピタル損益	▲36	▲30	▲39	▲9
(-) 臨時損益	▲38	▲2	▲8	▲6
基礎利益	305	290	310	19

## ■ 事業別利益(億円)

	2017年度実績	2018年度予想		
		年初(①)	今回(②)	②-①
MCEV増加額*	990	350	850	500

\* 資本取引の影響を除く

### — 新契約年換算保険料

- 保障性商品の販売が順調であるものの、法人向け商品の販売減により、年初予想対比▲109億円下方修正の933億円を見込む

### — 保有契約年換算保険料

- 新契約の減少により、年初予想対比▲40億円下方修正の8,748億円を見込む

### — 当期純利益

- 年初予想と同額の210億円を見込む

### — 基礎利益

- 新契約の減少に伴い、責任準備金の積増負担も減少すること等により、年初予想対比19億円上方修正の310億円を見込む

### — 事業別利益(MCEV増加額)

- 保障性商品の拡大や金利上昇等の影響を織り込み、年初予想対比500億円上方修正の850億円を見込む

# 海外保険事業①：2018年度業績予想(正味収入保険料)

連結決算	国内生保事業
国内損保事業	海外保険事業



## ■ 事業ドメイン別業績(億円)

	2017年度実績	2018年度予想					(参考) 前年増減率 (為替の影響除き) <sup>*5</sup>
		年初 (①)	今回 (②)	②-①	前年 増減	前年 増減率	
適用為替レート (ドル/円)	17年12月末 113.0円	18年3月末 106.2円	18年9月末 113.5円				
北米 <sup>*1</sup>	10,470	10,270	11,270	1,000	799	8%	7%
Philadelphia	3,597	3,470	3,800	330	202	6%	5%
Delphi	2,526	2,440	2,690	250	163	6%	6%
TMHCC	3,547	3,630	3,980	350	432	12%	12%
欧州 <sup>*2</sup>	1,619	1,580	1,590	10	▲29	▲2%	0%
中南米	1,480	1,450	1,300	▲150	▲180	▲12%	6%
アジア (含む中東)	1,459	1,450	1,560	110	100	7%	11%
再保険 <sup>*3</sup>	1,462	1,450	1,390	▲60	▲72	▲5%	▲5%
損保計 <sup>*4</sup>	16,492	16,200	17,110	910	617	4%	6%
生保	917	930	970	40	52	6%	8%
合計	17,410	17,130	18,080	950	669	4%	6%

\*1: 「北米」に記載の数値には、TMHCCの欧州および再保険事業を含みます。TMKの北米事業は含みません。  
 \*2: 「欧州」に記載の数値には、TMKの北米事業を含みます。TMHCCの欧州・再保険事業は含みません。  
 \*3: 「再保険」に記載の数値には、TMRおよび他の再保険会社の数値を記載しています。  
 \*4: 「損保計」に記載の数値には、生損保兼営の海外子会社で引き受けている生命保険事業の数値を一部含んでおります。  
 \*5: 円換算時の為替の影響を控除。

— 北米の好調な業績やタイにおけるSafety社の買収効果に加え、円安進行の影響等により、年初予想対比950億円上方修正の18,080億円を見込む

### 【主な修正要因】

#### 北米

- 各拠点における成長施策の実行に加え、円安進行の影響等により上方修正

#### 中南米

- ブラジルにおける自動車保険の引受拡大により現地通貨ベースでは上方修正を見込むが、円高進行の影響により下方修正

#### アジア(含む中東)

- タイにおけるSafety社の買収効果等により上方修正

#### 生保

- シンガポールにおける販売増等により上方修正

# 海外保険事業②：2018年度業績予想(事業別利益)

連結決算	国内生保事業
国内損保事業	海外保険事業



## ■ 事業ドメイン別業績(億円)

	2017年度実績	2018年度予想					(参考) 前年増減率 (為替の影響除き)*2
		年初 (1)	今回 (2)	②-①	前年 増減	前年 増減率	
適用為替レート (ドル/円)	17年12月末 113.0円	18年3月末 106.2円	18年9月末 113.5円				
北米*1	1,598	1,370	1,680	310	81	5%	5%
Philadelphia	392	420	450	30	57	15%	14%
Delphi	730	490	680	190	▲50	▲7%	▲7%
TMHCC	451	430	490	60	38	9%	8%
欧州*2	▲179	100	120	20	299	-	-
中南米	50	50	90	40	39	78%	117%
アジア (含む中東)	143	90	80	▲10	▲63	▲44%	▲42%
再保険*3	▲161	90	80	▲10	241	-	-
損保計*4	1,448	1,700	2,060	360	611	42%	42%
生保	63	20	▲10	▲30	▲73	▲116%	▲116%
合計	1,441	1,650	1,950	300	508	35%	35%

\*1: 「北米」に記載の数値には、TMHCCの欧州および再保険事業を含みます。TMKの北米事業は含みません。

\*2: 「欧州」に記載の数値には、TMKの北米事業を含みます。TMHCCの欧州・再保険事業は含みません。

\*3: 「再保険」に記載の数値には、TMRおよび他の再保険会社の数値を記載しています。

\*4: 「損保計」に記載の数値には、生損保兼営の海外子会社で引き受けている生命保険事業の数値を一部含んでおります。

\*5: 円換算時の為替の影響を控除。

— Delphiにおける資産運用収益の拡大やブラジルにおける自動車保険の収益改善に加え、自然災害の減少や円安進行の影響等により300億円上方修正の1,950億円を見込む

### 【主な修正要因】

#### 北米

- 増収効果や資産運用収益の増加に加え、自然災害の減少や円安進行の影響等により上方修正

#### 欧州

- 自然災害の減少や為替換算益の影響等により上方修正

#### 中南米

- ブラジルにおける自動車保険の収益改善を主因に上方修正

#### アジア(含む中東)

- インドにおける自動車保険の収益悪化等により下方修正

#### 再保険

- 過年度リザーブの積増等により下方修正

#### 生保

- シンガポールにおける金利上昇に伴う債券含み益の減少等により下方修正

## 第4部 : ESRの状況

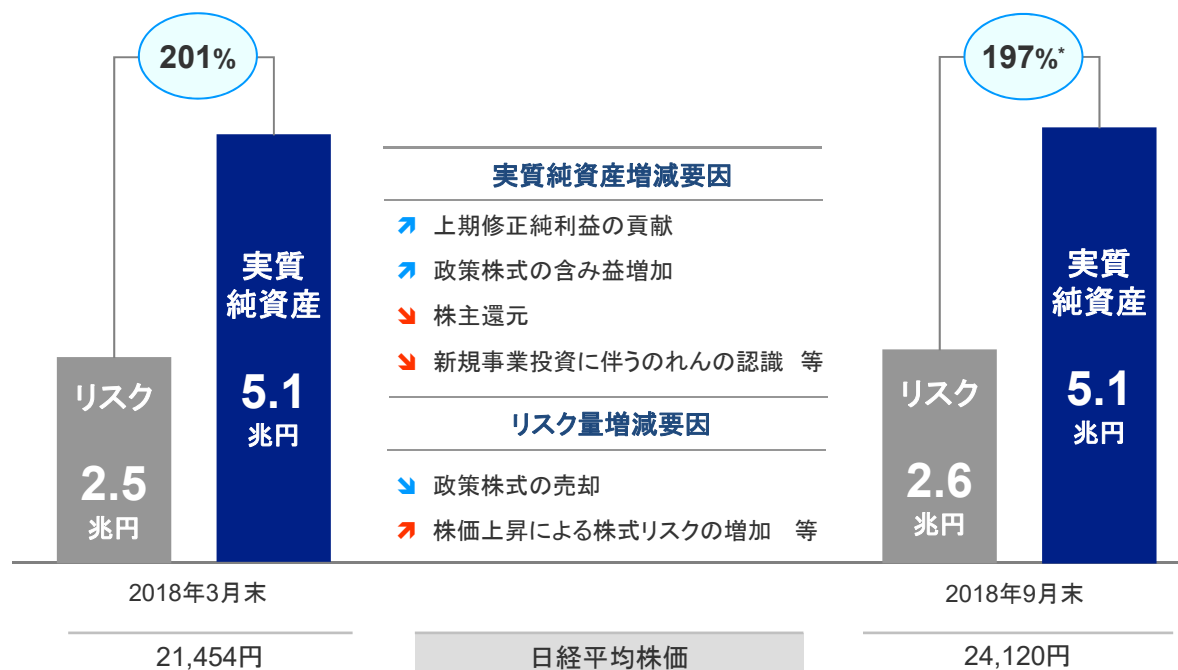
## Economic Solvency Ratio (ESR) のターゲットレンジ

- 99.95%VaR (AA格基準) のリスク量算出に基づくモデルを使用
- ESRは、健全性と収益性の観点から150%~210%をターゲットレンジとしている



- 利益貢献や株価上昇によるプラス効果の一方で、事業投資や株主還元等により、2018年9月末のESRは197%（ターゲットレンジ内）となった

## ESRの推移

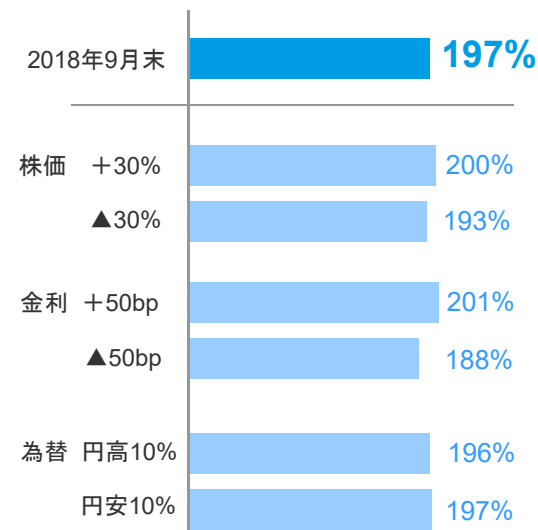


- 実質純資産増減要因**
- 上期修正純利益の貢献
  - 政策株式の含み益増加
  - 株主還元
  - 新規事業投資に伴うのれんの認識 等
- リスク量増減要因**
- 政策株式の売却
  - 株価上昇による株式リスクの増加 等

\* 再保険子会社 (TMR) の売却は2019年3月末のクロージングを予定しているため、2018年9月末のESR (197%) に売却の影響は含んでいない

## ESRの感応度

株価：政策株式の時価変動がESRに与える影響が大きいため、政策株式の売却を継続  
 金利：将来の金利上昇に備えつつ、ALM運用により金利変動の影響をコントロール  
 為替：ESRへの影響は限定的



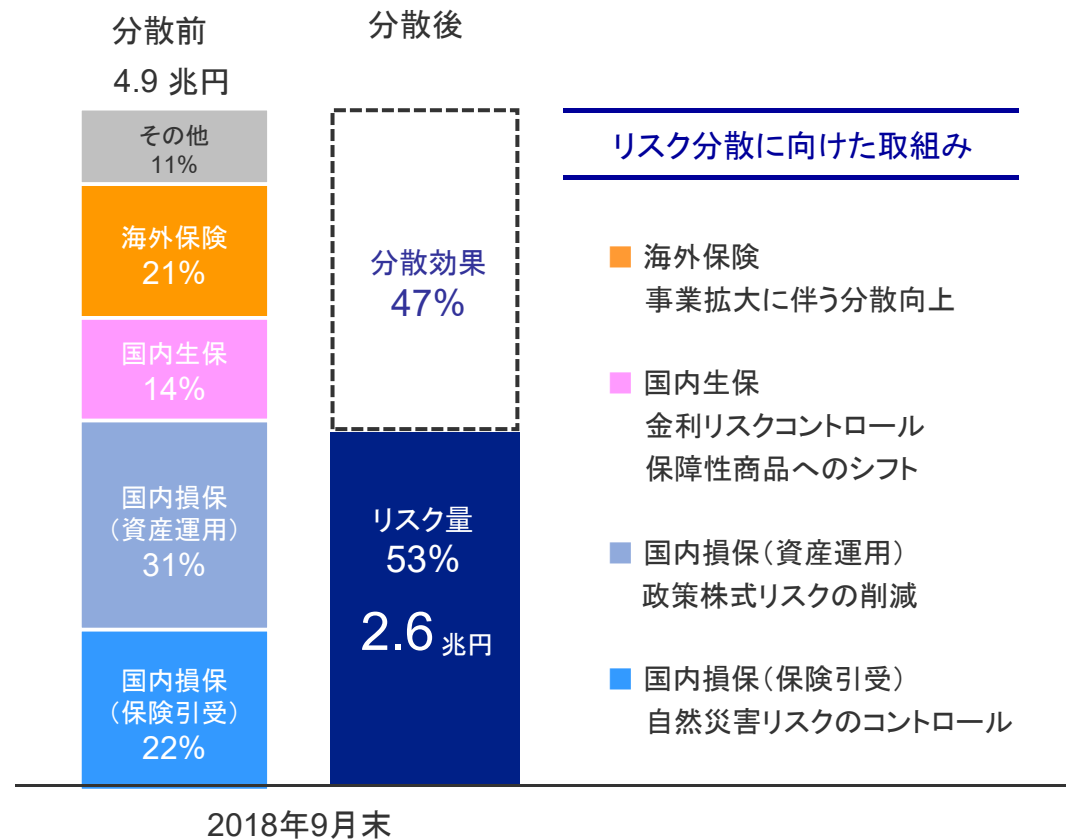
### (参考) 実質純資産の定義

$$\text{実質純資産} = \text{財務会計上の連結純資産} + \text{資本性負債(税後)(異常危険準備金、価格変動準備金等)} - \text{のれん等} - \text{株主還元予定額} + \text{生保有契約価値} + \text{その他}$$

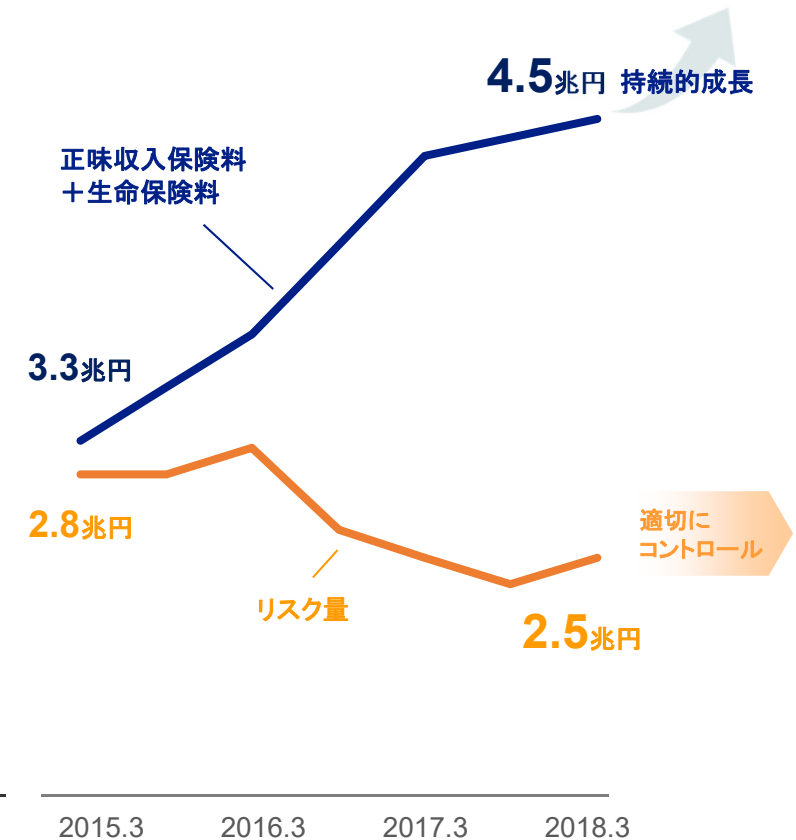
# リスク量の状況

- 2018年9月末の分散考慮後のリスク量は2.6兆円
- 事業分散の拡大・政策株式売却の進展等により、リスク分散が向上

## ■ リスク量の状況



## ■ 保険料とリスク量の推移



- ✓ 99.95%VaR、税後ベース
- ✓ 「その他」には、金融・一般事業、出資に係る為替リスク等を含む

## 参考資料



## ■ 証券化商品等への投資状況(億円)

(2018年度第2四半期末現在、東京海上グループの主要会社の合計額)

	2018年度 第2四半期末残高*1	うち国内拠点	うち海外拠点
<b>ABS(証券化商品)</b>	<b>14,247</b>	<b>2,606</b>	<b>11,641</b>
Agency MBS*2	2,160	–	2,160
AAA	2,265	341	1,924
AA	670	95	575
A	2,943	1,177	1,766
BBB	3,003	559	2,444
上記以外	3,204	432	2,772
<b>金融保証特約再保険(証券化関連)</b>	<b>–</b>	<b>–</b>	<b>–</b>

\*1 ABS残高:時価 金融保証特約再保険残高:保証残高

\*2 Agency MBS: ファニーメイ、フレディマック、ジニーメイ発行のMBS

## 修正純利益(グループ全体)

透明性および比較可能性の向上／株主還元との連鎖

- 市場から見た透明性や比較可能性の向上、株主還元との連鎖の確保を目的として、グループ全体では財務会計をベースとした「修正純利益」を使用
- 資本効率(修正ROE)や配当原資の前提となるグループ全体の利益指標

## 事業別利益

長期的な企業価値拡大

- 各事業の利益指標は、経済価値等を考慮した企業価値を的確に把握し、長期的に拡大を目指す観点から、「事業別利益」を用いて経営管理を行う
- 国内生保事業については、経済価値をより適正に示すMCEV(市場整合的EV)を使用

### <主な違い>

		修正純利益	事業別利益
損害保険	政策株式売却損益	控除しない	控除
	資本性準備金繰入額	控除	控除
生命保険		財務会計上の当期純利益を調整	MCEVの当期増加額
その他	のれん・その他無形固定資産償却費	控除	控除

# 修正純利益・修正純資産・修正ROE・事業別利益の定義

## 修正純利益・修正純資産・修正ROEの定義

### 修正純利益※1

$$\begin{aligned}
 \text{修正純利益} &= \text{連結当期純利益}^{\ast 2} + \text{異常危険準備金繰入額}^{\ast 3} + \text{危険準備金繰入額}^{\ast 3} + \text{価格変動準備金繰入額}^{\ast 3} - \text{ALM}^{\ast 4}\text{債券・金利スワップ取引に関する売却・評価損益} \\
 &+ \text{のれんその他無形固定資産償却額} - \text{事業投資に係る株式・固定資産に関する売却損益・評価損} - \text{その他特別損益評価性引当等}
 \end{aligned}$$

### 修正純資産※1

$$\text{修正純資産} = \text{連結純資産} + \text{異常危険準備金} + \text{危険準備金} + \text{価格変動準備金} - \text{のれんその他無形固定資産}$$

### 修正ROE

$$\text{修正ROE} = \frac{\text{修正純利益}}{\text{修正純資産(平均残高ベース)}}$$

## 事業別利益の定義

### 損害保険事業

$$\begin{aligned}
 \text{事業別利益}^{\ast 1} &= \text{当期純利益} + \text{異常危険準備金等繰入額}^{\ast 3} + \text{価格変動準備金繰入額}^{\ast 3} - \text{ALM}^{\ast 4}\text{債券・金利スワップ取引に関する売却・評価損益} \\
 &- \text{政策株式・事業投資に係る株式・固定資産に関する売却損益・評価損} - \text{その他特別損益評価性引当等}
 \end{aligned}$$

### 生命保険事業 ※5

$$\text{事業別利益}^{\ast 1} = \text{EV}^{\ast 6}\text{の当期増加額} - \text{増資等資本取引}$$

### その他の事業

財務会計上の当期純利益

※1 各調整額は税引き後

※2 連結財務諸表上の「親会社株主に帰属する当期純利益」

※3 戻入の場合はマイナス

※4 ALM＝資産・負債総合管理。ALMの負債時価変動見合いとして除外

※5 一部の生保については「その他の事業」の基準により算出（利益については本社費等を控除）

※6 Embedded Valueの略。純資産価値に、保有契約から得られるであろう利益の現在価値を加えた指標

# 修正純利益(グループ全体の利益指標)：2018年度 第2四半期実績



## ■ 第2四半期決算における修正純利益は、前年同期比▲536億円減益の899億円

### ● 組替表<sup>\*1</sup>

(注)符号は利益方向にプラス表示

(億円)

	2017年度 第2四半期 実績	2018年度 第2四半期 実績	前年 増減
親会社株主に帰属する中間純利益(連結)	767	538	▲228
異常危険準備金繰入額 <sup>*2</sup>	+ 267	▲ 33	▲301
危険準備金繰入額 <sup>*2</sup>	+ 20	+ 3	▲17
価格変動準備金繰入額 <sup>*2</sup>	+ 24	+ 28	3
ALM <sup>*3</sup> 債券・金利スワップ取引に関する売却・評価損益	▲ 25	+ 10	36
事業投資に係る株式・固定資産に関する売却損益・評価損	+ 6	+ 12	6
のれん・その他無形固定資産償却額	+ 383	+ 341	▲41
その他特別損益・評価性引当等	▲ 9	▲ 2	7
<b>修正純利益</b>	<b>1,435</b>	<b>899</b>	<b>▲536</b>

\*1 各調整は税引き後

\*2 戻入の場合はマイナス

\*3 ALM=資産・負債総合管理のこと。ALM負債時価変動見合いとして除外

### — 組替についての前年同期からの主な変動

#### ● 異常危険準備金繰入額:

▶ 国内損保事業において、自然災害に係る支払保険金が増加したことにより、異常危険準備金の取崩額が増加（組替調整額は減少）

#### ● ALM債券・金利スワップ取引に関する売却・評価損益:

▶ TMNFにおいて、ALM関連の運用資産に係る売却損益が減少（組替調整額は増加）

#### ● のれん・その他無形固定資産償却額:

▶ DelphiやTMKにおけるのれんの償却が前年度に終了したことにより減少（組替調整額も減少）

# 修正純利益(グループ全体の利益指標)：2018年度業績予想

- 2018年度通期の修正純利益は、年初予想対比▲980億円下方修正の2,980億円を見込む
- 修正ROEは年初予想対比▲2.2pt減少の7.4%を見込む

## ● 組替表<sup>\*1</sup>

(注)符号は利益方向にプラス表示

(億円)

	2017年度 実績	2018年度 予想 (年初)	2018年度 予想 (今回)	今回-年初
親会社株主に帰属する当期純利益(連結)	2,841	3,200	3,200	-
異常危険準備金繰入額 <sup>*2</sup>	+ 256	+ 40	▲ 1,050	▲ 1,090
危険準備金繰入額 <sup>*2</sup>	+ 33	+ 10	+ 10	-
価格変動準備金繰入額 <sup>*2</sup>	+ 49	+ 50	+ 60	10
ALM <sup>*3</sup> 債券・金利スワップ取引に 関する売却・評価損益	▲ 55	+ 0	+ 20	20
事業投資に係る株式・固定資産に 関する売却損益・評価損	+ 15	+ 0	+ 20	20
のれん・その他無形固定資産償却額	+ 737	+ 670	+ 730	60
その他特別損益・評価性引当等	▲ 464	▲ 10	▲ 10	-
<b>修正純利益</b>	<b>3,414</b>	<b>3,960</b>	<b>2,980</b>	<b>▲ 980</b>
<b>修正ROE</b>	<b>8.6%</b>	<b>9.6%</b>	<b>7.4%</b>	<b>▲ 2.2pt</b>

\*1 各調整は税引き後

\*2 戻入の場合はマイナス

\*3 ALM=資産・負債総合管理のこと。ALM負債時価変動見合いとして除外

### — 組替についての年初予想からの主な変動

#### ● 異常危険準備金繰入額:

- ▼ 国内損保事業において、自然災害に係る支払保険金の増加を見込むため、異常危険準備金の取崩額が増加(組替調整額は減少)

#### ● のれん・その他無形固定資産償却額:

- ➡ 円安進行の影響により、外貨建てのれん・その他無形固定資産の償却負担が増加(組替調整額も増加)

(単位:億円)

## ● 修正純資産\*

	2017年度 実績	2018年度 予想 (年初)	2018年度 予想 (今回)	今回-年初
連結純資産	38,051	38,969	37,589	▲1,380
異常危険準備金	+8,365	+8,422	+7,336	▲1,086
危険準備金	+396	+406	+411	5
価格変動準備金	+722	+773	+783	10
のれん・ その他無形固定資産	▲6,672	▲6,919	▲6,320	599
<b>修正純資産</b>	<b>40,864</b>	<b>41,652</b>	<b>39,800</b>	<b>▲1,852</b>

\* 各調整は税引き後

## ● 修正ROE

	2017年度 実績	2018年度 予想 (年初)	2018年度 予想 (今回)	今回-年初
連結純利益	2,841	3,200	3,200	-
連結純資産*	36,736	38,510	37,820	▲690
財務会計ROE	7.7%	8.3%	8.5%	0.2pt

\* 平残ベース

	2017年度 実績	2018年度 予想 (年初)	2018年度 予想 (今回)	今回-年初
修正純利益	3,414	3,960	2,980	▲980
修正純資産*	39,494	41,200	40,300	▲900
修正ROE	8.6%	9.6%	7.4%	▲2.2pt

\* 平残ベース

# 事業別利益：2018年度 第2四半期実績

(単位:億円)

事業ドメイン	2017年度 第2四半期 実績	2018年度 第2四半期 実績	
			増減
<b>国内損害保険事業</b>	<b>691</b>	<b>▲636</b>	<b>▲1,328</b>
東京海上日動	643	▲590	▲1,234
日新火災	48	▲45	▲93
その他	▲0	▲0	0
<b>国内生命保険事業<sup>*1,*2</sup></b>	<b>860</b>	<b>711</b>	<b>▲148</b>
あんしん生命	865	711	▲154
<b>海外保険事業</b>	<b>360</b>	<b>932</b>	<b>572</b>
北米	666	785	118
欧州	35	69	34
中南米	21	54	33
アジア(含む中東)	85	52	▲33
再保険	35	35	0
損害保険事業 <sup>*3</sup>	843	1,003	159
生命保険事業	34	▲30	▲65
合計(調整前)	848	932	83
北米ハリケーン等の追込み	▲488	-	488
<b>金融・一般事業</b>	<b>35</b>	<b>30</b>	<b>▲4</b>

\*1 資本取引の影響を除きます

\*2 EV計算については、一部簡易な計算を実施しています。  
なお、本計算の妥当性については第三者の検証は受けておりません

\*3 損害保険事業には、生損保兼営の海外子会社で引き受けている生命保険事業の数値を一部含みます

# 事業別利益：2018年度業績予想

(単位:億円)

事業ドメイン	2017年度 実績	2018年度 予想		
		年初	今回	今回 - 年初
<b>国内損害保険事業</b>	<b>1,443</b>	<b>1,610</b>	<b>260</b>	<b>▲1,350</b>
東京海上日動	1,371	1,550	270	▲1,280
日新火災	83	80	0	▲80
その他	▲10	▲20	▲20	-
<b>国内生命保険事業<sup>*1</sup></b>	<b>984</b>	<b>350</b>	<b>850</b>	<b>500</b>
あんしん生命	990	350	850	500
<b>海外保険事業</b>	<b>1,441</b>	<b>1,650</b>	<b>1,950</b>	<b>300</b>
北米	1,598	1,370	1,680	310
欧州	▲179	100	120	20
中南米	50	50	90	40
アジア(含む中東)	143	90	80	▲10
再保険	▲161	90	80	▲10
損害保険事業 <sup>*2</sup>	1,448	1,700	2,060	360
生命保険事業	63	20	▲10	▲30
<b>金融・一般事業</b>	<b>72</b>	<b>50</b>	<b>50</b>	<b>-</b>

\*1 資本取引の影響を除きます

\*2 損害保険事業には、生損保兼営の海外子会社で引き受けている生命保険事業の数値を一部含みます



# 事業別利益の組替表

## ● 国内損保事業\*1 (うちTMNF)

(単位: 億円)

	2017年度 第2四半期 実績	2018年度 第2四半期 実績	前年 増減
中間純利益 (財務会計)	1,124	▲103	▲1,227
異常危険準備金繰入額等 <sup>*2</sup>	+247	▲26	▲274
価格変動準備金繰入額 <sup>*2</sup>	+18	+19	0
ALM <sup>*3</sup> 債券・金利スワップ取引 に関する売却・評価損益	▲26	+12	38
政策株式・事業投資に係る株式・ 固定資産に関する売却・評価損益	▲343	▲442	▲98
グループ内配当金	▲524	▲75	448
その他特別損益 評価性引当等	+147	+25	▲122
<b>事業別利益</b>	<b>643</b>	<b>▲590</b>	<b>▲1,234</b>

	2017年度 実績	2018年度 予想 (年初)	2018年度 予想 (今回)	今回-年初
当期純利益 (財務会計)	2,538	2,420	2,180	▲240
異常危険準備金繰入額等 <sup>*2</sup>	+230	+13	▲1,003	▲1,016
価格変動準備金繰入額 <sup>*2</sup>	+38	+38	+39	1
ALM <sup>*3</sup> 債券・金利スワップ取引 に関する売却・評価損益	▲43	+1	+20	19
政策株式・事業投資に係る株式・ 固定資産に関する売却・評価損益	▲588	▲558	▲553	5
グループ内配当金	▲929	▲457	▲480	▲23
その他特別損益 評価性引当等	+124	+93	+67	▲26
<b>事業別利益</b>	<b>1,371</b>	<b>1,550</b>	<b>270</b>	<b>▲1,280</b>

## ● 海外保険事業\*1

	2017年度 第2四半期 実績	2018年度 第2四半期 実績	前年 増減
海外保険子会社 中間純利益 (財務会計)	639	823	184
EVとの差 (生保事業)	+16	▲26	▲42
少数株主持分の調整	▲14	▲9	+4
対象会社の差異	+60	+3	▲56
その他調整 <sup>*4</sup>	+147	+142	▲5
<b>事業別利益<sup>*5</sup></b>	<b>848</b>	<b>932</b>	<b>83</b>

	2017年度 実績	2018年度 予想 (年初)	2018年度 予想 (今回)	今回-年初
海外保険子会社 当期純利益 (財務会計)	1,453	1,380	1,700	320
EVとの差 (生保事業)	+5			
少数株主持分の調整	▲27			
対象会社の差異	+13			
その他調整 <sup>*4</sup>	▲3			
<b>事業別利益</b>	<b>1,441</b>	<b>1,650</b>	<b>1,950</b>	<b>300</b>

\*1 各調整は税引き後

\*2 戻入の場合はマイナス

\*3 ALM=資産・負債総合管理。ALMの負債時価変動見合いとして除外

\*4 その他無形固定資産償却費、本社費ほか

\*5 2017年度第2四半期実績は北米ハリケーン等の追込み調整前

## < ご注意 >

本資料は、現在当社が入手している情報に基づいて、当社が本資料の作成時点において行った予測等を基に記載されています。

これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、一定のリスクや不確実性を内包しております。

従いまして、将来の実績が本資料に記載された見通しや予測と大きく異なる可能性がある点をご承知おきください。

## お問い合わせ先

東京海上ホールディングス株式会社

経営企画部 広報IRグループ

URL: <http://www.tokiomarinehd.com/inquiry/ir.html>

Tel: 03-3285-0350

*To Be a Good Company*



東京海上ホールディングス

TOKIO MARINE

